

○久保健太郎、黒柳能光

第2回日本再生医療学会（平成15年3月10日～11日、神戸）  
同種培養真皮から産生されるサイトカインのヒト角化細胞増殖効果  
北里大学大学院医療系研究科医用材料工学

○松井宏道、黒柳能光

第2回日本再生医療学会（平成15年3月10日～11日、神戸）  
同種培養真皮を用いた難治性皮膚潰瘍の治療成績

京都大学大学院医学研究科皮膚科学1、  
北里大学医療衛生学部人工皮膚研究開発センター2

○米澤理雄1、猪口奈緒子1、加藤真弓1、石田勝英1、立花隆夫1、  
宮地良樹1、黒柳能光2

第2回日本再生医療学会（平成15年3月10日～11日、神戸）  
同種培養真皮を用いた皮膚潰瘍治療の試み（厚生科学再生医療プロジェクト）  
九州大学医学部皮膚科1、北里大学医療衛生学部人工皮膚研究開発センター2

○師井洋一1、藤田尚平1、増田祐一1、古江増隆1、  
久保健太郎2、松井宏道2、加川志津子2、黒柳能光2

第2回日本再生医療学会（平成15年3月10日～11日、神戸）  
小児熱傷後瘢痕拘縮に対する自家培養真皮の臨床応用

大阪医科大学形成外科1、  
北里大学医療衛生学部人工皮膚研究開発センター2

○藤森 靖1、上田晃一1、大宮由香1、  
久保健太郎2、松井宏道2、黒柳能光2

第2回日本再生医療学会（平成15年3月10日～11日、神戸）  
同種培養真皮の使用経験（厚生科学再生医療プロジェクト）

大阪医科大学形成外科1、  
北里大学医療衛生学部人工皮膚研究開発センター2

○文山芳貴1、上田晃一1、大宮由香1、藤森 靖1、

久保健太郎 2、松井宏道 2、黒柳能光 2

第 2 回日本再生医療学会（平成 15 年 3 月 10 日～11 日、神戸）

難治性潰瘍に対する同種培養真皮の使用経験（厚生科学再生医療プロジェクト）

横浜市立大学医学部附属病院形成外科 1、同附属市民総合医療センター形成外科 2、北里大学医療衛生学部人工皮膚研究開発センター 3

○三上太郎 1、広富浩一 1、前川二郎 1、大木健作 1、醍醐佳代 1、安村和則 2、鳥飼勝行 2、久保健太郎 3、松井宏道 3、黒柳能光 3

第 2 回日本再生医療学会（平成 15 年 3 月 10 日～11 日、神戸）

同種培養真皮を用いた難治性下腿潰瘍の治療（厚生科学再生医療プロジェクト）

北海道大学大学院医学研究科形成外科 1

北里大学医療衛生学部人工皮膚研究開発センター 2

○井川浩晴 1、皆川知広 1、今井智浩 1、安田和加奈 1、杉原平樹 1、久保健太郎 2、松井宏道 2、加川志津子 2、黒柳能光 2

第 46 回日本形成外科学会総会（平成 15 年 4 月 9 日～11 日、神戸）

小児熱傷後癍痕拘縮に対する自家培養真皮の臨床応用

大阪医科大学形成外科 1 北里大学医療衛生学部人工皮膚開発センター 2

○藤森 靖 1、上田晃一 1、大場創介 1、大宮由香 1、久保健太郎 2、松井宏道 2、黒柳能光 2

第 46 回日本形成外科学会総会（平成 15 年 4 月 9 日～11 日、神戸）

膠原病による難治性下腿潰瘍に対する同種培養真皮の使用経験（厚生科学再生医療プロジェクト）

川崎医科大学形成外科 1 北里大学医療衛生学部人工皮膚開発センター 2

○岡 博昭 1、森口隆彦 1、稲川喜一 1、久保健太郎 2、松井宏道 2、加川志津子 1、黒柳能光 2

第46回日本形成外科学会総会（平成15年4月9日～11日、神戸）

皮膚悪性腫瘍切除後の同種培養真皮の使用経験

愛知医科大学形成外科1 北里大学医療衛生学部人工皮膚開発センター2

横尾 和久1、青山 久1、黒柳能光2

第102回日本皮膚科学会総会（平成15年5月23日～25日、浦安市）

同種培養真皮を用いた皮膚潰瘍治療の試み（厚生科学再生医療プロジェクト）

九州大学医学部皮膚科1 北里大学医療衛生学部人工皮膚開発センター2

○藤田尚平1、師井洋一1、増田禎一1、占部和敬1、古賀哲也1、古江増隆1  
久保健太郎2、松井宏道2、加川志津子2、黒柳能光2

第102回日本皮膚科学会総会（平成15年5月23日～25日、浦安市）

同種培養真皮を用いた難治性皮膚潰瘍治療の試み：先天性表皮水疱症患者3例への適応（厚生科学再生医療プロジェクト）

順天堂大学医学部皮膚科1、

北里大学医療衛生学部人工皮膚研究開発センター2

○長谷川敏男1、溝口将之1、須賀 康1、池田志孝1、小川秀興1  
久保健太郎2、松井宏道2、加川志津子2、黒柳能光2

第102回日本皮膚科学会総会（平成15年5月23日～25日、浦安市）

同種培養真皮を用いた皮膚潰瘍治療の試み（厚生科学再生医療ミレニアムプロジェクト）

秋田大学医学部皮膚科1、北里大学医療衛生学部人工皮膚研究開発センター2

○播摩奈津子1、安齋眞一1、輪湖雅彦1、真鍋 求1、  
久保健太郎2、松井宏道2、加川志津子2、黒柳能光2

平成13年度～14年度

同種培養真皮多施設臨床研究結果

多施設臨床研究適応分類

共同研究施設	有効症例	1	2	3	4	5	6	7	8	9
北海道大形成外科	15	0	2	4	0	8	1	0	0	0
秋田大皮膚科	12	0	0	0	1	5	2	0	0	4
慶應義塾大形成外科	8	0	0	0	0	1	1	6	0	0
日本医大形成外科	7	0	0	0	0	7	0	0	0	0
東京女子医形成外科	15	7	0	0	0	5	2	1	0	0
順天堂大皮膚科	11	0	0	0	0	8	0	1	2	0
聖マリ医大形成外科	17	6	1	1	0	5	3	1	0	0
北里大形成外科	6	3	0	0	0	2	0	1	0	0
北里大皮膚科	4	0	0	0	0	4	0	0	0	0
横市大形成外科	11	0	2	0	0	9	0	0	0	0
横市大皮膚科	6	0	0	0	0	6	0	0	0	0
名古屋大形成外科	9	0	0	0	0	8	1	0	0	0
愛知医大形成外科	12	0	0	0	0	0	0	0	0	12
金沢医大形成外科	17	5	0	10	2	0	0	0	0	0
京都大皮膚科	13	0	0	0	0	13	0	0	0	0
和歌山医大皮膚科	2	0	0	0	0	2	0	0	0	0
近畿大形成外科	11	7	3	0	1	0	0	0	0	0
大阪医大形成外科	14	1	3	0	0	5	2	0	3	0
川崎医大形成外科	12	4	1	1	0	6	0	0	0	0
岡山大皮膚科	3	0	0	0	0	3	0	0	0	0
鳥取大皮膚科	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
香川医大形成外科	4	0	1	1	0	2	0	0	0	0
福岡大形成外科	5	1	1	2	1	0	0	0	0	0
九州大皮膚科	18	1	0	1	0	7	1	0	1	7
湘南鎌倉病院形成外科	4	1	0	3	0	0	0	0	0	0
国立京都病院皮膚科	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0
香川県中央病形成外科	12	1	0	7	0	4	0	0	0	0
北九州総合病形成外科	5	0	2	0	1	0	2	0	0	0
合計	255	37	17	30	6	111	15	10	6	23
比率%		14	7	12	2	44	6	4	2	9

1：深達性2度熱傷

2：3度熱傷壊死組織切除創

3：高倍率自家メッシュグラフトの被覆

4：分層自家パッチグラフトの保護

5：難治性皮膚欠損壊死組織切除創

6：外傷性皮膚欠損創

7：色素性母斑切除創

8：熱傷等癍痕切除創

9：腫瘍切除創

多施設臨床研究総合評価

共同研究施設	症例数	極めて有用	有用である	普通	有用でない	参考除外
北海道大形成	15	13	1	0	1	0
秋田大皮膚	12	7	4	1	0	0
慶應義塾大形成	8	3	5	0	0	0
日本医大形成	7	1	4	2	0	0
東京女子医形成	16	14	0	0	1	1
順天堂大皮膚	11	9	2	0	0	0
聖マリ医大形成	20	8	9	0	0	3
北里大形成	6	5	1	0	0	0
北里大皮膚	4	3	1	0	0	0
横市大形成	11	9	2	0	0	0
横市大皮膚	7	1	5	0	0	1
名古屋大形成	9	3	6	0	0	0
愛知医大形成	12	10	1	1	0	0
金沢医大形成	17	3	8	6	0	0
京都大皮膚科	13	9	3	1	0	0
和歌山医大皮膚	2	1	1	0	0	0
近畿大形成	11	7	3	1	0	0
大阪医大形成	14	9	5	0	0	0
川崎医大形成	12	8	4	0	0	0
岡山大皮膚	3	1	2	0	0	0
鳥取大皮膚	2	0	1	0	0	1
香川医大形成	4	2	2	0	0	0
福岡大形成	6	3	2	0	0	1
九州大皮膚	18	14	4	0	0	0
湘南鎌倉病院	4	3	1	0	0	0
国立京都病院	1	1	0	0	0	0
香川県中央病形	13	11	0	1	0	1
北九州総合病形	6	5	0	0	0	1
合計	264	163	77	13	2	9
比率%		63.9	30.2	5.1	0.8	

\*有効症例数：255 (96.6%)

参考・除外症例数：9 (3.4%)

多施設臨床研究安全性評価

共同研究施設	有効症例	A	B	C	D
北海道大形成	15	13	1	0	1
秋田大皮膚	12	9	3	0	0
慶應義塾大形成	8	8	0	0	0
日本医大形成	7	6	1	0	0
東京女子医形成	15	15	0	0	0
順天堂大皮膚	11	11	0	0	0
聖マリ医大形成	17	17	0	0	0
北里大形成	6	6	0	0	0
北里大皮膚	4	3	1	0	0
横市大形成	11	10	1	0	0
横市大皮膚	6	5	1	0	0
名古屋大形成	9	9	0	0	0
愛知医大形成	12	11	0	1	0
金沢医大形成	17	14	3	0	0
京都大皮膚科	13	11	1	1	0
和歌山医大皮膚	2	2	0	0	0
近畿大形成	11	9	2	0	0
大阪医大形成	14	11	3	0	0
川崎医大形成	12	11	1	0	0
岡山大皮膚	3	3	0	0	0
鳥取大皮膚	1	1	0	0	0
香川医大形成	4	4	0	0	0
福岡大形成	5	4	1	0	0
九州大皮膚	18	17	1	0	0
湘南鎌倉病院	4	4	0	0	0
国立京都病院	1	1	0	0	0
香川県中央病形	12	11	0	1	0
北九州総合病形	5	5	0	0	0
合計	255	231	20	3	1
比率%		90.6	7.8	1.2	0.4

A 安全（不具合なし）

B ほぼ安全（軽度の不具合で特別な処置を必要とせず継続使用可能）

C 安全に疑問あり（重度の不具合が発生し特別な処置を必要とした）

D 安全でない（有害事象発現 合併症／症状悪化）

研究成果の刊行に関する一覧表

書籍

発表者氏名	論文タイトル	発表誌名	巻号	ページ	出版年
黒柳能光	皮膚欠損創に対する再生医療	再生医療その可能性 じほう（財団法人ヒューマンサイエンス振興財団）		31-42	2003
黒柳能光	同種培養真皮	皮膚科診療プラクティス： 難治性皮膚潰瘍を治すスキル		128-130	2003
黒柳能光	皮膚を対象とした再生医療	日本臨床	61 巻	427-431	2003
岡 博昭 森口隆彦 黒柳能光	培養皮膚	救急医学 熱傷治療マニュアル	27 巻	77-78	2003
熊谷憲夫	「組織再生」皮膚の再生医療	日本医師会雑誌	129 巻	339-342	2003
黒柳能光	培養皮膚の適用による皮膚欠損創の治療	小児科 金原出版	43 巻	1701-1705	2002
黒柳能光	人工皮膚	医療器機事典 産業調査会		333-334	2002
黒柳能光	厚生科学再生医療プロジェクト：同種培養真皮の開発	医学のあゆみ	200 巻	247-251	2002
黒柳能光	再生医療の現状：培養皮膚代替物の開発現状	Medicina 医学書院	39 巻	468-470	2002



雑誌

K.Kubo Y.Kuroyanagi	Development of cultured dermal substitute composed of spongy matrix of hyaluronic acid and atelo-collagen combined with fibroblasts; Cryopreservation	Artif. Organs			in press
K.Kubo Y.Kuroyanagi	Development of cultured dermal substitute composed of spongy matrix of hyaluronic acid and atelo-collagen combined with fibroblasts; Fundamental evaluation	J. Biomater. Sci. Polymer Edn.			in press
K.Kubo Y.Kuroyanagi	Characterization of cultured dermal substitute composed of spongy matrix of hyaluronic acid and collagen combined with fibroblasts	J.Artif. Organs			in press
K. Kubo Y.Kuroyanagi	Spongy matrix of hyaluronic acid and collagen as a cultured dermal substitute; evaluation in an animal test	J.Artif. Organs	6 卷	64-70	2003
黒柳能光 久保健太郎 松井宏道 加川志津子 森さと子 H-J. Kim 馬淵 洋	同種培養真皮の製造と供給システム（厚生科学再生医療ミレニアムプロジェクト）	日本熱傷学会誌	29 卷	28-38	2003
播磨奈津子 安斎眞一 輪湖雅彦 真鍋 求 久保健太郎 松井宏道 加川志津子 黒柳能光	同種培養真皮を用いた皮膚潰瘍治療の試み（厚生科学再生医療ミレニアムプロジェクト）	日本皮膚科学会雑誌	113 卷	253-264	2003
H.Oshima N.Kumagai	Permanent restoration of human skin treated with cultured epithelium grafting-wound healing by stem cell based tissue engineering	Cell	15 卷	118-128	2002

岡 博昭 藤津美佐子 末延耕作 森口隆彦 久保健太郎 松井宏道 加川志津子 黒柳能光	熱傷および難治性皮膚潰瘍 に対する同種培養真皮の臨 床使用経験（厚生科学再生 医療ミレニアムプロジェク ト）	日本熱傷 学会会誌	28 卷	333-342	2002
中野敏明 宮田聡子 佐藤直哉 増澤幹男 勝岡憲生 黒柳能光	同種培養真皮の適応が奏功 した難治性皮膚潰瘍の 1 例	皮膚の科 学	1 卷	91-96	2002

T.Hasegawa Y.Suga M.Mizoguchi S.Ikeda H.Ogawa K.Kubo H.Matsui S.Kagawa Y.Kuroyanagi	Clinical trial of allogeneic cultured dermal substitute for the treatment of intractable skin ulcers in three patients with recessive dystrophic epidermolysis bullosa	J.Amer. Acad. Dermatol.			投稿中
S.Fujita Y.Moroi S.Fukagawa T.Mashino T.Masuda K.Urabe T.Koga M.Furue K.Kubo H.Matsui S.Kagawa Y.Kuroyanagi	The clinical evaluation of allogeneic cultured dermal substitutes for intractable skin ulcers	Brit.J. Dermatol.			投稿中
N.Kashiwa O.Ito T.Ueda K.Kubo H.Matusi Y.Kuroyanagi	Treatment of full-thickness skin defect with concomitant grafting of 6-fold extended mesh auto-skin and allogeneic cultured dermal substitute	Artif. Organs			投稿中
K.Kubo Y.Kuroyanagi	Effects of VEGF released from cultured dermal substitute on proliferation of vascular endothelial cells in vitro	Wound Repar Regener.			投稿中
長谷川敏男 溝口将之 須賀 康 池田志孝 小川秀興 久保健太郎 松井宏道 加川志津子 黒柳能光	同種培養真皮を使用した先天性表皮水疱症（劣性栄養障害型）の治療（厚生科学再生医療プロジェクト）	日本皮膚 科学会雑 誌			投稿中
上田武滋 柏 尚裕 伊藤 理 久保健太郎 黒柳能光	同種培養真皮と6倍自家分層メッシュ植皮を併用した壊死性筋膜炎の1例	日本皮膚 科学会雑 誌			投稿中

藤森 靖 上田晃一 大宮由香 久保健太郎 黒柳能光	全層皮膚欠損創に対する同 種培養真皮の臨床応用	日本形成 外科学会 誌			投稿中

20020472

以降は雑誌/図書に掲載された論文となりますので、  
「研究成果の刊行に関する一覧表」をご参照ください。